

北上川上流流域関連滝沢公共下水道事業変更計画書

流域関連公共下水道管理者

滝 沢 市 長

工事着手の年月日

昭和 54 年 2 月 16 日

工事完了の年月日

令和 7 年 3 月 31 日

(第1表の1) 分流式汚水

予 定 処 理 区 域 調 書					
予定処理区域の面積		830 約 877 ヘクタール		予定処理区域の地名	
岩手県滝沢市 「区域は下水道計画 一般図表示のとおり」					
処理分区 の 名 称	面積 (単位ヘクタール)	流域下水道 との接続箇 所の 番 号	流域下水道との 接続箇所的位置	接 続 す る 流域下水道 の 幹 線 名	摘 要
砂 込 第 一 処 理 分 区	30	玉 8	滝沢市砂込	玉山幹線	日最大汚水量 — 229m ³ /日 — BOD=212 mg/L — S S=162 mg/L
滝 沢 駅 前 処 理 分 区	63 67	玉 7	滝沢市巣子	玉山幹線	日最大汚水量 — 772m ³ /日 — BOD=210 mg/L — S S=159 mg/L
巣 子 第 二 処 理 分 区	216	玉 6	滝沢市狼久保	玉山幹線	日最大汚水量 — 3,899m ³ /日 — BOD=212 mg/L — S S=162 mg/L
湯 舟 沢 処 理 分 区	45	玉 4	滝沢市湯舟沢	玉山幹線	日最大汚水量 — 897m ³ /日 — BOD=210 mg/L — S S=160 mg/L
穴 口 処 理 分 区	165	滝 10	滝沢市穴口	滝沢1号幹線	日最大汚水量 — 2,649m ³ /日 — BOD=210 mg/L — S S=159 mg/L
鶉 飼 東 処 理 分 区	67 68	滝 9	滝沢市鶉飼諸葛川	滝沢1号幹線	日最大汚水量 — 1,193m ³ /日 — BOD=210 mg/L — S S=159 mg/L

処理分区 の名称	面積 (単位ヘクタール)	流域下水道 との接続箇 所の番号	流域下水道との 接続箇所の位置	接続する 流域下水道 の幹線名	摘 要
鵜飼西 処理分区	186 199	滝 8	滝沢市鵜飼高柳	滝沢 1 号幹線	日最大汚水量 — 2,231m ³ /日 — BOD=210 mg/L — S S=159 mg/L
大釜 処理分区	〃 55	滝 2 号 3	滝沢市篠木待場	滝沢 2 号幹線	日最大汚水量 — 866m ³ /日 — BOD=211 mg/L — S S=159 mg/L
小岩井北 処理分区	〃 23	小 7	滝沢市大釜風林	小岩井幹線	日最大汚水量 — 274m ³ /日 — BOD=208 mg/L — S S=157 mg/L
小岩井南 処理分区	9	小 5	雫石町第 26 地割字 丸谷地	小岩井幹線	日最大汚水量 — 61m ³ /日 — BOD=208 mg/L — S S=157 mg/L

(第1表の2) 分流式雨水

予 定 排 水 区 域 調 書						
予定排水区域の面積		757 約 770 ヘクタール		予定排水区域内の地名		岩手県滝沢市 「区域は下水道計画 一般図表示のとおり」
排水区 の名称	面積 (単位 ヘクタール)	放流個所 の番号	放 流 個 所 の 位 置	放 流 先 の 名 称	摘 要	
北上川右岸 第二排水区	6	吐 57		北上川		
北上川右岸 第三排水区	21	吐 48	大崎	北上川		
北上川右岸 第四排水区	37	吐 49	野沢	北上川		
北上川右岸 第五排水区	1					
巢子川右岸 第一排水区	31					
巢子川右岸 第二排水区	33	吐 52	巢子	巢子川		
巢子川右岸 第三排水区	18	吐 55	巢子	巢子川		
巢子川左岸 第二排水区	91	吐 50	葉ノ木沢山	巢子川		
巢子川左岸 第三排水区	8					
巢子川左岸 第四排水区	34	吐 51	葉ノ木沢山	巢子川		
法誓寺排水区	9					
牧野林排水路 左岸第一排水区	30	吐 4	穴口	牧野林排水路		

排水区 の名称	面積 (単位 ヘクタール)	放流個所 の番号	放流個所 の位置	放流先の 名称	摘要
牧野林排水路 左岸第二排水区	1				
牧野林排水路 左岸第三排水区	11				
牧野林排水路 左岸第四排水区	5				
牧野林排水路 右岸第二排水区	30				
牧野林排水路 右岸第三排水区	5				
牧野林排水路 右岸第四排水区	2				
木賊川左岸 排水区	1				
小諸葛川 排水区	14				
諸葛川左岸 第一排水区	4	吐 18-1	牧野林	諸葛川	
諸葛川左岸 第二排水区	2				
諸葛川左岸 第三排水区	3				
諸葛川左岸 第四排水区	2				
諸葛川左岸 第五排水区	5				
諸葛川左岸 第六排水区	3				
諸葛川左岸 第七排水区	1				
諸葛川左岸 第八排水区	8				

排水区 の名称	面積 (単位 ヘクタール)	放流個所 の番号	放流個所 の位置	放流先の 名称	摘要
諸葛川左岸 第九排水区	1				
諸葛川左岸 第十排水区	1				
諸葛川左岸 第十一排水区	1				
諸葛川右岸 第二排水区	1				
諸葛川右岸 第三排水区	1				
諸葛川右岸 第四排水区	18				
諸葛川右岸 第五排水区	28	吐 22-1	室小路	諸葛川	
諸葛川右岸 第六排水区	8				
諸葛川右岸 第七排水区	2				
諸葛川右岸 第八排水区	2				
諸葛川右岸 第九排水区	21	吐 25	鵜飼諸葛川	諸葛川	
諸葛川右岸 第十排水区	2				
諸葛川右岸 第十一排水区	2				
諸葛川右岸 第十二排水区	10	吐 28	鵜飼石留	諸葛川	

排水区 の名称	面積 (単位 ヘクタール)	放流個所 の番号	放流個所 の位置	放流先の 名称	摘要
笹森用水路右岸 第一排水区	39	吐 32	鶺鴒迫	笹森用水路	
		吐 34	鶺鴒先古川	笹森用水路	
笹森用水路右岸 第二排水区	11 16	吐 35	鶺鴒年毛	笹森用水路	
— 笹森用水路左岸 第一排水区	— 5				
笹森用水路左岸 第二排水区	1 3	吐 54	鶺鴒向新田	笹森用水路	
笹森用水路左岸 第三排水区	32 33	吐 29	鶺鴒向新田	笹森用水路	
笹森用水路左岸 第六排水区	25	吐 30			
笹森用水路左岸 第八排水区	12				
大釜排水区	29	吐 56	大釜竹鼻	雫石川	
上厨川 排水区	9				
小荒川 排水区	17	吐 21	篠木樋の口	小荒川	
湯舟沢排水区	44	吐 53	湯舟沢	諸葛川	調整池を経て諸葛川へ 放流
市兵衛川左岸 第一排水区	1				
市兵衛川左岸 第四排水区	9				
越前堰用水路 左岸第一排水区	10				
越前堰用水路 右岸排水区	5				

(第2表)

吐 口 調 書							
排水区の 名 称	主要な吐口 の種類	主要な吐口 の番号 又は名称	主要な吐口 の位置	計画放流量 (m ³ /sec)	放流先の 名 称	放流先の 水 位	摘 要
北上川右岸 第三排水区	分流式 雨水管渠	吐 48	大崎	5.176	北上川	—	
北上川右岸 第四排水区	分流式 雨水管渠	吐 49	野沢	8.561	北上川	—	
巢子川右岸 第二排水区	分流式 雨水管渠	吐 52	巢子	3.710	巢子川	—	
巢子川左岸 第二排水区	分流式 雨水管渠	吐 50	葉ノ木沢山	20.556	巢子川	—	
巢子川左岸 第四排水区	分流式 雨水管渠	吐 51	葉ノ木沢山	3.745	巢子川	—	
牧野林排水路 左岸第一排水区	分流式 雨水管渠	吐 4	穴口	1.921	牧野林 排水路	—	
諸葛川左岸 第一排水区	分流式 雨水管渠	吐 18-1	牧野林	3.699	諸葛川	—	
諸葛川右岸 第五排水区	分流式 雨水管渠	吐 22-1	室小路	11.482	諸葛川	—	
諸葛川右岸 第九排水区	分流式 雨水管渠	吐 25	鶉飼諸葛川	7.998	諸葛川	—	
諸葛川右岸 第十二排水区	分流式 雨水管渠	吐 28	鶉飼石留	1.410	諸葛川	—	
笹森用水路右岸 第一排水区	分流式 雨水管渠	吐 34	鶉飼先古川	4.604	笹 森 用水路	—	

排水区の名 称	主要な吐口の種類	主要な吐口の番号 又は名称	主要な吐口の位置	計画放流量 (m ³ /sec)	放流先の名 称	放流先の水 位	摘 要
笹森用水路右岸 第 二 排 水 区	分流式 雨水管渠	吐 35	鶉飼年毛	4.200	笹 森 用水路	—	
笹森用水路左岸 第 二 排 水 区	分流式 雨水管渠	吐 54	鶉飼向新田	6.758	笹 森 用水路	—	
笹森用水路左岸 第 三 排 水 区	分流式 雨水管渠	吐 29	鶉飼向新田	3.641	笹 森 用水路	—	
笹森用水路左岸 第 六 排 水 区	分流式 雨水管渠	吐 30	鶉飼向新田	2.704	笹 森 用水路	—	
大 釜 排 水 区	分流式 雨水管渠	吐 56	大釜竹鼻	5.913	雫石川	—	点検の方法：目視及び 動作確認 頻度：月に1回以上
小 荒 川 排 水 区	分流式 雨水管渠	吐 21	篠木樋の口	1.930	小荒川	—	
湯 舟 沢 排 水 区	分流式 雨水管渠	吐 53	湯舟沢	1.919	諸葛川	—	

(第3表の1) 分流式汚水

管 渠 調 書				
処理区分の名称	主要な管渠の 内のり寸法 (単位：ミリメートル)	延 長 (単位：メートル)	点検箇所 の数	摘 要
— 砂込第一処理分区	— 150	— 20	—	方法：マンホールからの 管内目視または管口テレ ビカメラを用いる方法 頻度：5年に1回以上
	小 計	20		
滝沢駅前処理分区	100	1,180	6 4	
	150	770		
	200	880		
	250	90		
	350	260		
	小 計	3,180		
巣子第二処理分区	150	470	3	
	200	260		
	250	1,180		
	300	940		
	350	230		
	450	290		
	800	330		
	小 計	3,700		
湯舟沢処理分区	150	120	1	
	200	170		
	250	130		
	300	330		
	350	10		
	小 計	760		
穴口処理分区	200	960	2	
	250	850		
	300	730		
	350	160		
	600	730		
	700	60		
	800	1,610		
	小 計	5,100		

処理区分の名称	主要な管渠の 内のり寸法 (単位：ミリメートル)	延 長 (単位：メートル)	点検箇所 の数	摘 要
鵜飼東処理分区	200	190	—	方法：マンホールからの 管内目視または管口テレ ビカメラを用いる方法 頻度：5年に1回以上
	250	480		
	300	140		
	350	320		
	400	580		
	450	590		
	小 計	2,300		
鵜飼西処理分区	100	490	—	
	200	1,840		
	250	1,970		
	300	1,280		
	350	1,330		
	400	330		
	450	190		
	500	310		
	600	50		
	小 計	7,790		
大釜処理分区	800	1,410	—	
	小 計	1,410		
小岩井北処理分区	150	280	—	
	200	100		
	小 計	380		
小岩井南処理分区	150	260	—	
	200	130		
	小 計	390		
合 計		25,010 25,030	12 10	

(第3表の2) 分流式雨水

管 渠 調 書				
排水区の名称	主要な管渠の 内のり寸法 (単位：ミリメートル)	延 長 (単位：メートル)	点検箇所 の数	摘 要
北上川右岸 第三排水区	700 × 700	210	—	
	1100 × 1100	200		
	1300 × 1300	340		
	1700 × 1500	420		
	800	120		
	900	40		
	1100	50		
	小 計	1,380		
北上川右岸 第四排水区	700 × 900	60	—	
	1000 × 1000	100		
	1000 × 1100	110		
	1100 × 1100	330		
	1200 × 1100	70		
	1200 × 1200	20		
	1300 × 1300	100		
	1400 × 1400	490		
	2100 × 1500	20		
	2400 × 1500	280		
	2500 × 1500	110		
	1200	70		
	小 計	1,760		
湯舟沢排水区	1200	970	—	
	1350	80		
	1500	30		
	1800	20		
	小 計	1,100		

排水区の名称	主要な管渠の 内のり寸法 (単位：ミリメートル)	延 長 (単位：メートル)	点検箇所 の数	摘 要
巢子川右岸 第二排水区	1100 × 1100	390	—	
	1300 × 1300	60		
	小 計	450		
巢子川左岸 第二排水区	1200 × 1200	130	—	
	1400 × 1200	80		
	1600 × 1200	50		
	1700 × 1100	10		
	2400 × 1200	150		
	2400 × 1400	10		
	2400 × 1500	250		
	2800 × 2000	290		
	3200 × 1600	90		
	3600 × 1800	330		
	5000 × 1800	430		
	2200	300		
	小 計	2,120		
巢子川左岸 第四排水区	1200 × 1300	80	—	
	1400 × 1400	160		
	小 計	240		
牧野林排水路 左岸第一排水区	1,000 × 900	60	—	
	1200 × 1000	170		
	小 計	230		

排水区の名称	主要な管渠の 内のり寸法 (単位：ミリメートル)	延 長 (単位：メートル)	点検箇所 の数	摘 要
諸葛川左岸 第一排水区	1400 × 1200	100	—	
	1500 × 1200	110		
	2000 × 1200	90		
	小 計	300		
諸葛川右岸 第五排水区	2700 × 1600	400	—	
	2700 × 1800	80		
	2800 × 1700	120		
	3000 × 2000	30		
	小 計	630		
諸葛川右岸 第九排水区	1600 × 1600	100	—	
	1700 × 1800	170		
	2000 × 2000	240		
	小 計	510		
諸葛川右岸 第十二排水区	1000 × 1000	120	—	
	1100 × 1100	180		
	小 計	300		
笹森用水路右岸 第一排水区	1200 × 1200	200	—	
	1800 × 1200	330		
	小 計	530		
笹森用水路右岸 第二排水区	1300 × 1200	260	—	
	1500 × 1400	120		
	1500	20		
	小 計	400		
笹森用水路左岸 第二排水区	1400 × 1400	180	—	
	2200 × 1500	210		
	小 計	390		
笹森用水路左岸 第三排水区	1350	270	—	
	1500	80		
	小 計	350		

排水区の名称	主要な管渠の 内のり寸法 (単位：ミリメートル)	延 長 (単位：メートル)	点検箇所 の数	摘 要
笹森用水路左岸 第六排水区	1350	90	—	
	1500	210		
	小 計	300		
大釜排水区	1400 × 1400	80	—	
	1500 × 1500	60		
	1500 × 1800	50		
	—	—		
	2000 × 1300	90		
	2500 × 1500	10		
	—	—		
	3000-1000 × 1000	70		
	3300 × 1000	290		
小 計	490 650			
小荒川	1100 × 1100	260	—	
	1200 × 1200	70		
	小 計	330		
合 計		11,810 11,970	—	

(第5表)

貯留施設調書				
排水区の名称	主要な貯留施設の名称	主要な貯留施設の位置	貯留能力 (単位 立方メートル)	摘 要
湯舟沢排水区	湯舟沢調整池	湯舟沢	29,722m ³	諸葛川への 雨水流出量の抑制

(様式1) 施設の設置に関する方針

主要な 施策	整備水準				事業の 重点化・ 効率化の 方針	中期目標を 達成する ための 主要な事業	備考	
	指標等	現在 (令和3年度末)	中期目標 (令和10年度末)	長期 目標				
汚水 処理	下水道 処理人口 普及率 (汚水 処理人口 普及率)	70.5%	71.7% (89.3%)	76.1% (95.1%)	概成に向け、 区域の精査を 行う。			
浸水 対策	都市 浸水 対策 達成 率	整備目標 滝沢市 37.0mm/h	34.60% (262.0ha)	39.63% (300.0ha)	100.0%	浸水常襲地区 において、優 先的に計画降 雨(37.0mm/h) に対する浸水 被害の最小化 を目指す。	大釜排水区 浸水対策事業	
耐震化	災害時 における 機能 確保 率	主要な管渠	75.45%	78.55%	100.0%	ストックマネ ジメント計画 の見直しを行 い、重要な幹 線等の改築・ 更新の実施及 び耐震化を目 指す。		

※ 事業計画に基づき今後実施する予定の事業に関するものを選定している。

(様式2) 施設の機能の維持に関する方針

a) 主要な施設に係る主な措置

i) 劣化・損傷を把握するための点検・調査の計画

主要な施設	点検・調査の計画
管渠施設	施設の重要度等に応じて、概ね5年に一度点検を実施。 点検の結果、異常の可能性のある箇所についてテレビカメラ等による調査を実施。

ii) 診断結果を踏まえた修繕・改築の判断基準

主要な施設	改築の判断基準
管渠施設	健全度Ⅲのものを修繕・改築対象とする。

iii) 改築事業の概要（令和3年度～令和6年度）

主要な施設	改築事業の概要
管渠施設	延長：601m

b) 施設の長期的な改築の需要見通し

改築需要の見通し (年当りの概ねの事業規模の試算)	試算の対象時期	試算の前提条件
年当たり概ね2億円	概ね35年後 (供用開始(S54)から72年後)	管渠施設 耐用年数：72年

- ・管渠の改築事業費は、管渠延長を約176km、管渠改築単価を8.1万円/mとして算定した。
- ・管渠の耐用年数は、「持続的な汚水処理システム構築に向けた都道府県構想策定マニュアル、平成26年1月(P.28)」に示されている耐用年数72年を参考に、「72年」に設定した。

(様式3) 毎会計年度の工事費の予定額及びその予定財源

(1) 経費

(単位：千円)

年次	イ. 経費の部										合計
	建設改良費				うち用地費	起債元利償還費	維持管理費	その他			
	管渠	ポンプ場	処理場	計							
過年度	21,501,345	-	-	21,501,345	4,807	11,669,795	6,748,660	-	-	39,919,800	
令和4年度	179,060	-	-	179,060	-	439,725	322,392	-	-	941,177	
令和5年度	180,560	-	-	180,560	-	436,952	322,392	-	-	939,904	
令和6年度	220,196	-	-	220,196	-	395,075	328,189	-	-	943,460	
令和7年度	358,696	-	-	358,696	-	392,653	328,189	-	-	1,079,538	
令和8年度	219,936	-	-	219,936	-	384,312	333,987	-	-	938,235	
令和9年度	219,936	-	-	219,936	-	382,236	333,987	-	-	936,159	
令和10年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
令和11年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
令和12年度	619,192	-	-	619,192	-	1,219,112	984,568	-	-	2,822,872	
令和13年度	759,192	-	-	759,192	-	1,211,841	984,568	-	-	2,955,601	
小計	22,120,537	-	-	22,120,537	4,807	12,888,907	7,733,228	-	-	42,742,672	
合計	22,054,085	-	-	22,054,085	4,807	12,880,345	7,749,267	-	-	42,683,697	

(2) (財源)

(単位：千円)

年次	ロ. 財源の部										
	建設費			改良費			維持管理費及び起債元利償還費				
	国費	起債	他会計 繰入金	受益者負担金 及び分担金	その他	計	下水道 使用料	他会計 繰入金	その他	計	合計
過年度	6,154,922	9,122,410	2,293,197	992,382	2,938,434	21,501,345	8,396,534	7,757,382	2,264,539	18,418,455	39,919,800
令和4年度	6,049,977	8,994,265	2,311,335	983,908	2,955,408	21,294,893	8,358,748	7,806,425	2,268,030	18,433,203	39,728,096
令和5年度	54,450	115,500	110	9,000	-	179,060	574,163	187,954	-	762,117	941,177
令和6年度	55,200	116,300	60	9,000	-	180,560	574,163	185,181	-	759,344	939,904
令和7年度	71,850	139,200	146	9,000	-	220,196	584,451	138,813	-	723,264	943,460
令和8年度	141,100	208,500	96	9,000	-	358,696	584,451	136,391	-	720,842	1,079,538
令和9年度	76,470	134,400	66	9,000	-	219,936	594,739	123,560	-	718,299	988,235
令和10年度	76,470	134,400	66	9,000	-	219,936	594,739	121,484	-	716,223	936,159
令和11年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
令和12年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
令和13年度	202,770	389,100	322	27,000	-	619,192	1,753,353	450,327	-	2,203,680	2,822,872
令和14年度	272,770	459,200	222	27,000	-	759,192	1,753,353	443,056	-	2,196,409	2,955,601
小計	6,357,692	9,511,510	2,293,519	1,019,382	2,938,434	22,120,537	10,149,887	8,207,709	2,264,539	20,622,135	42,742,672
合計	6,322,747	9,453,465	2,311,557	1,010,908	2,955,408	22,054,085	10,112,101	8,249,481	2,268,030	20,629,612	42,683,697
接続率：95.5% (令和2年度 (= 令和2年度未実績)：初年度) → 100% (令和6年度：最終年度) 講じる対策 広報による下水道周知、未接続世帯への訪問、イベント等での下水道展示にて下水道PR、接続推進活動											
下水道使用料関連事項 有収率：77.1% (令和2年度 (= 平成2年度未実績)：初年度) → 100% (令和6年度：最終年度) 講じる対策 管路施設の不明水調査、浸入水防止対策、雨水浸入水対策調査											
その他の講じる対策 水洗便所改造資金の融資あっせん制度、浄化槽設置整備事業の補助金、使用料改定の検討 (令和4年度までに)											